

プロジェクト名

竹-プラスチックコンポジット材を活用した事業の推進

事業の背景（地域・産業の特性、市場が抱える課題・ニーズ等）

- 北九州市では、管理竹林から切り出されるバイオマス資源としての竹の利活用や、景観上の問題や侵入竹による影響等が深刻化している放置竹林への対応など、竹の有効利用促進という大きな課題を抱えている。
 - 自動車業界では、地球温暖化の大きな要因であるCO2の低減のために、車体の軽量化による燃費向上を推進しており、そのために内外装部品のプラスチック化を進めているが、プラスチック素材自体の「低炭素化」、「低コスト」が強く望まれている。
- 以上のような地域とメーカーのニーズを踏まえ、低炭素（カーボンニュートラル）で安価な素材である『竹』とプラスチックの複合材（コンポジット）を市場に提供することを目指す。

事業の狙い（製品／市場・用途、提供する価値、新規性・優位性等）

- 製品 : 自動車用内外装部品、建材部品など
- 提供する価値 :
 - 石油由来プラスチック使用量の大幅な低減
 - 従来プラスチックより低コスト
 - 従来プラスチックと同等以上の材料特性
- 新規性・優位性 : 環境性に優れる竹とプラスチックのコンポジットでできた製品、従来プラスチックよりも安価

連携・グループ化の目的・期待効果

From（技術、製品、仕組み、販路等）

- 技術：基本的な技術をほぼ確立。
「竹繊維の製造技術」、
「コンポジットの成型技術」
- 製品：自動車用部品狙い。ターゲット部品は未決定。
- 仕組み：工業用材料として大量の竹の供給システムはない。



To（技術、製品、仕組み、販路等）

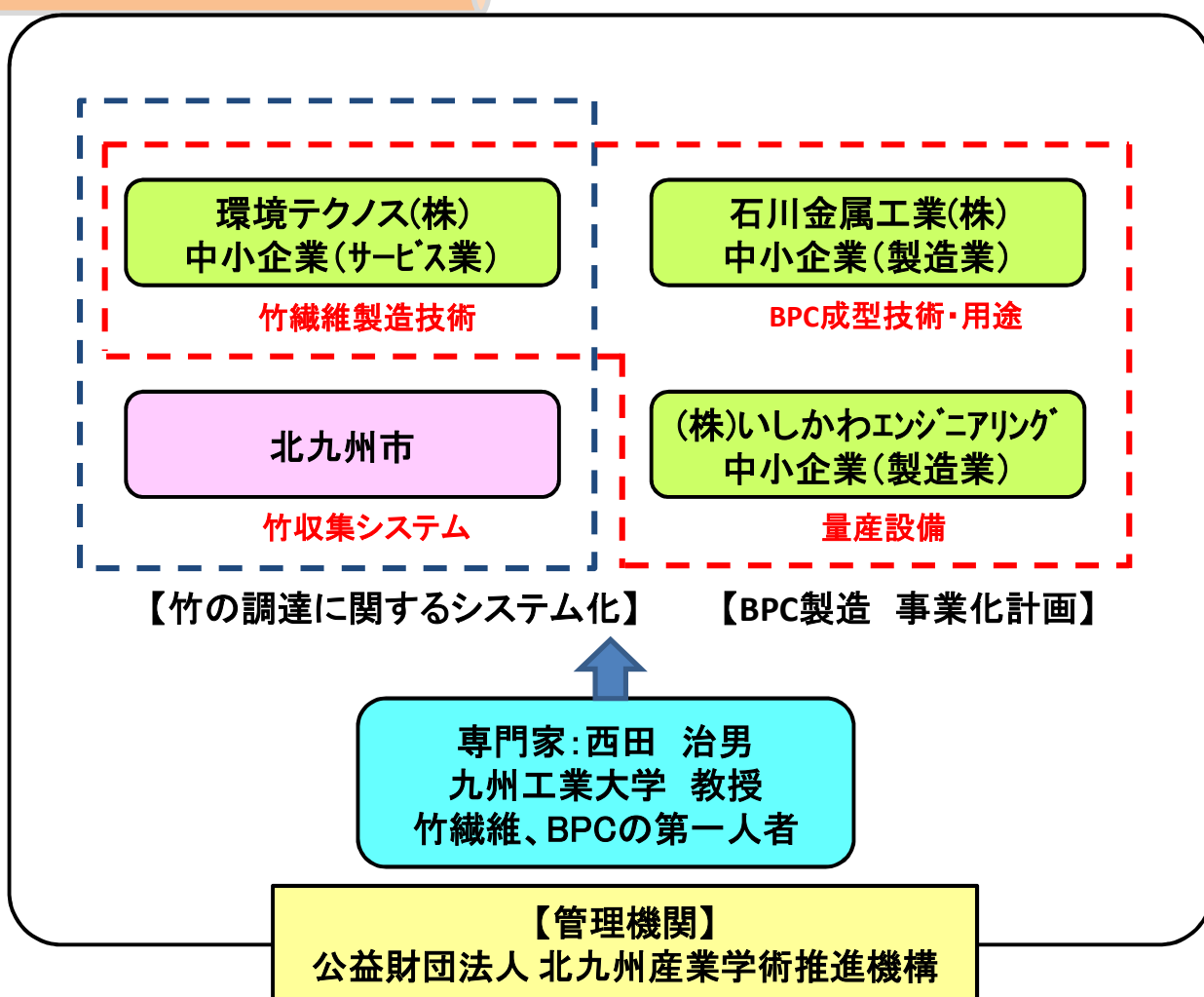
- 技術：ターゲット部品の要求特性を満たすコンポジットの開発
- 製品：自動車用部品、建材部品のターゲット部品の決定。
- 仕組み：大量の竹の調達・処理システムの構築。

この事業実現のためのキーファクター

大量の竹の調達・処理システムの構築。

- ・竹の調達・・・まとまった量を安定的に調達する方法の構築。北九州市と連携して調達システムの構築を図る。
- ・竹の処理・・・まとまった量の所定の繊維を安定的に生産できる処理システムの構築。

コンソーシアムの構成



※BPC：竹・プラスチックコンポジット

コンソーシアムの決意表明

竹の工業的利用については、これまでにもいろいろな努力がなされてきておりますが、事業性といった点でなかなか難しい問題を含んでいるようです。この問題を突破し、北九州だけでなく、全国の同じような竹の問題を抱えている地域にも波及することを目指して、頑張ります。